



別所だより

横浜市立別所小学校 令和5年11月22日発行



体験を通して学ぶ

校長 大島 宏二

10月までの厳しい残暑が嘘のように、11月に入って朝晩の寒さが急に厳しく感じられるようになりました。本校では、まだインフルエンザの大きな流行は見られず、子どもたちは元気いっぱい学校生活を送ることができています。

10月の運動会は、応援団を復活したりご家族の皆様の参観人数の制限を撤廃したりして、コロナ禍前の運動会に戻すべき所は戻しつつ開催をすることができました。その後は、学年ごとの行事が目白押しで、充実の秋となりました。まずは3年生が南区児童音楽会に参加をするために南公会堂へ出かけました。その前の週の朝会では、全校に向けて演奏を披露するとともに当該の保護者の皆様にもいらしていただきました。たくさん練習を重ねてきた演奏をできるだけ多くの人に聴いてもらいたいという思いがあり、緊張感のある場の経験を積む意味もあってのお披露目でした。ただ、3年生の子どもたちにとって広くて眩しいほどに明るい公会堂でのステージは、また別格だったようです。先日、南が丘中学校での別所連合ふれあいまつりでも出演する機会をいただきましたが、経験を積み重ねてきた子どもたちの表情からは、余裕も感じられる成長ぶりが印象的でした。

3年生の区音楽会当日、校内ではPTA主催による給食体験会を数年ぶりに実施して頂きました。この日のメニューが月1回のカレーライスでしたので、学校栄養職員が前月のカレーの調理の様子を映像に収めて作成した解説動画を試食前に視聴いただきました。その成果もあったのか、保護者の皆様の事後アンケートには、「給食を作っているところを初めて見ました！担当によってエプロンの色を変えたり、まさかアメ色になるまで玉ねぎを炒めていたりしたとは…。びっくりすることだらけでした。それと同時に、子どもがいつも『給食おいしい！全部食べたよ！』と毎日嬉しそうに報告してくれる訳が分かったような気がします。美味しい工夫をありがとうございます！！」というようなお褒めの言葉ばかりでした。その嬉しい反応に、学校栄養職員のみならず、毎日給食を作っている東洋食品の調理スタッフにも、すぐにこのアンケートを共有させていただきました。

1年生は弘明寺公園遠足、2年生は野毛山動物園遠足、6年生は狂言&劇場鑑賞…と、教室での学習だけでは得られない、貴重な体験を積み重ねています。保護者の皆様のご協力に感謝です。